

2013年1月23日

日本医史学会理事長 酒井 シヅ 先生

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

代表世話人 赤羽根巖

代表世話人 石川 徹

代表世話人 西山勝夫

事務局長 住江憲勇

「戦争と医の倫理」の検証などに関する懇談のお願い

謹啓 酒井シヅ理事長には、当会の顧問として常々お力添えをいただきありがとうございます。感謝申し上げます。また、日本の医学史研究においても、長年にわたり日本医史学会の理事長としてご尽力なされていますことに敬意を表します。

さて、酒井シヅ先生にもご案内いたしましたように、私たちは、京都大学で「戦争と医の倫理」をテーマに、昨年11月17日にはドイツの代表も招いての国際シンポジウムを行い、パネル展示も昨年11月16日～21日まで開催しました。パネル展示につきましては、京都大学の他に、昨年9月～11月にかけて、明治大学平和教育登戸研究所資料館（川崎市）、立命館大学国際平和ミュージアム（京都市）、保団連医療研究集会（東京都）でも展示を行いました。

上記企画への参加者や来場者からは、「このような史実の検証は大事であり、今後の医学・医療にも生かして欲しい」などと、医学・医療関係者への期待を込めた声が多数寄せられました。

この国際シンポジウム、パネル展示と前後して、高久史麿日本医学会会長とは、昨年10月19日に日本血液学会開催時に京都国際会議場で面談いただき、さらに今年1月8日には、日本医学会（日本医師会館内）で、1時間15分にわたり懇談の機会をいただきました。

「日本医学会として『戦争と医の倫理』の検証を公式課題として取り上げていただきたい」との当会の要請に、高久会長は、「このような活動を歴史としてまとめ残すことは意義がある。要請は協議会に伝え相談したい」と対応され、加盟各医学会との関係で一番近いのは、日本医史学会の酒井シヅ先生ですね」と述べられました。

また、2015年京都で開催される第29回日本医学会総会の井村裕夫会頭とは、昨年11月19日に京都市内の同総会準備室で懇談の機会をいただきました。当会から『戦争と医の倫理』を医学会総会の企画に反映していただきたい」と要請したのに対し、井村会頭は、「まだ企画は白紙であり、関係委員会でも検討したい」との意向も示されました。

なお、日本医師会の横倉義武会長にも懇談のお願いを依頼中です。

以上の経過もふまえて、私たちは、「戦争と医の倫理」の検証について、2015年の第29回日本医学会総会の企画として、また、日本医学会としての公式な検討課題としていただくよう今後とも

活動を進めたいと考えています。

また、当会が現時点の到達点としてまとめた「パネル集『戦争と医の倫理』」についても、さらに情報の収集や史実の検証を行い、現在翻訳中の「パネル集」も活用し、ドイツ、中国、アメリカなど外国との交流も進めたいと考えています。

これらの課題を具体化するうえで、酒井シヅ先生のご助言やお力添えを是非ともいただきたく、懇談の機会をいただければ幸甚に存じます。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、酒井シヅ先生のご都合などを同封の返信用封筒（あるいは、下記のメールアドレス宛）でお知らせいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

謹白

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

(連絡先) 〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-5 (新宿農協会館5階)

全国保険医団体連合会 内

TEL. 03-3375-5121

FAX. 03-3375-1862

e-mail tadashi-mri@doc-net.or.jp

URL <http://AVIC.doc-net.or.jp>